

今年後半の高い潮位について

- ◆ 今年後半も例年と同様に、夏から秋にかけては潮位が高くなり、浸水や冠水が発生しやすくなります。
- ◆ 東北地方太平洋沖地震に伴う地盤沈下が大きい地域では、6 月後半から 12 月にかけて浸水や冠水に一層の注意が必要です。

例年、夏から秋にかけては、海水温が高くなることなどの影響で、平常時の潮位^{※1}が高くなり、沿岸地域では浸水や冠水が発生しやすくなります。今年は 6 月後半から 12 月まで大潮の時期に満潮の潮位が高くなります（別紙表 1、図 1 参照）。

特に「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」に伴い顕著な地盤沈下が生じた岩手県、宮城県、福島県の沿岸では、大潮の満潮時を中心に浸水する範囲が拡大したり、浸水の深さが増すおそれがありますので注意してください（別紙図 2 参照）。

また、台風や低気圧が接近したり、異常潮位^{※2}が発生した場合は、さらに潮位が高くなりますので、より一層の注意が必要です。

地元気象台による高潮警報・注意報や潮位情報の発表に留意してください。

平成 25 年の各地の平常時の潮位は気象庁ホームページの潮位表でご覧いただけるほか、岩手県、宮城県、福島県の潮位観測地点については、毎時潮位カレンダーとして、1 時間毎の潮位もご覧になれます。

【潮位表】

<http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/db/tide/suisan/index.php>

【毎時潮位カレンダー】

http://www.data.jma.go.jp/gmd/omp/311/tide/takashio_portal.html

※1：過去の観測データから求めた潮位の予測値

※2：潮位が比較的長期間（1 週間から 3 か月程度）継続して平常より高く（もしくは低く）なる現象。

【本件に対する問い合わせ先】

仙台管区気象台技術部 気候・調査課
電話：022-297-8107

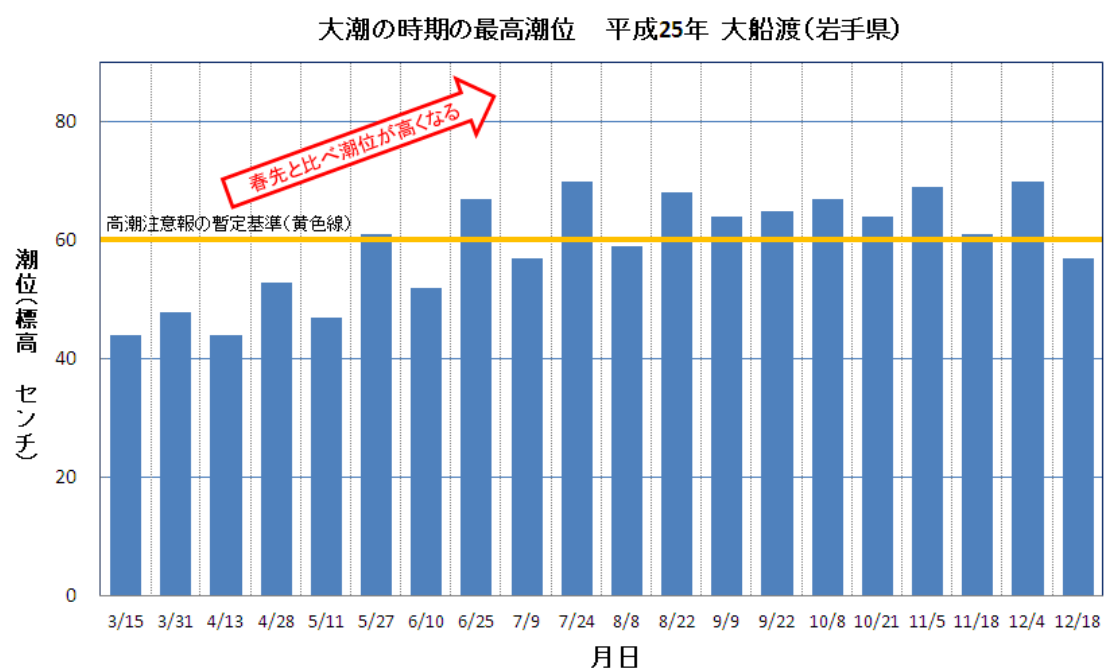


図 1-1 大潮の時期の最高潮位（大船渡（岩手県））

グラフの日付は、大潮の時期の中で平常時の満潮の潮位が最も高くなる日を表します。

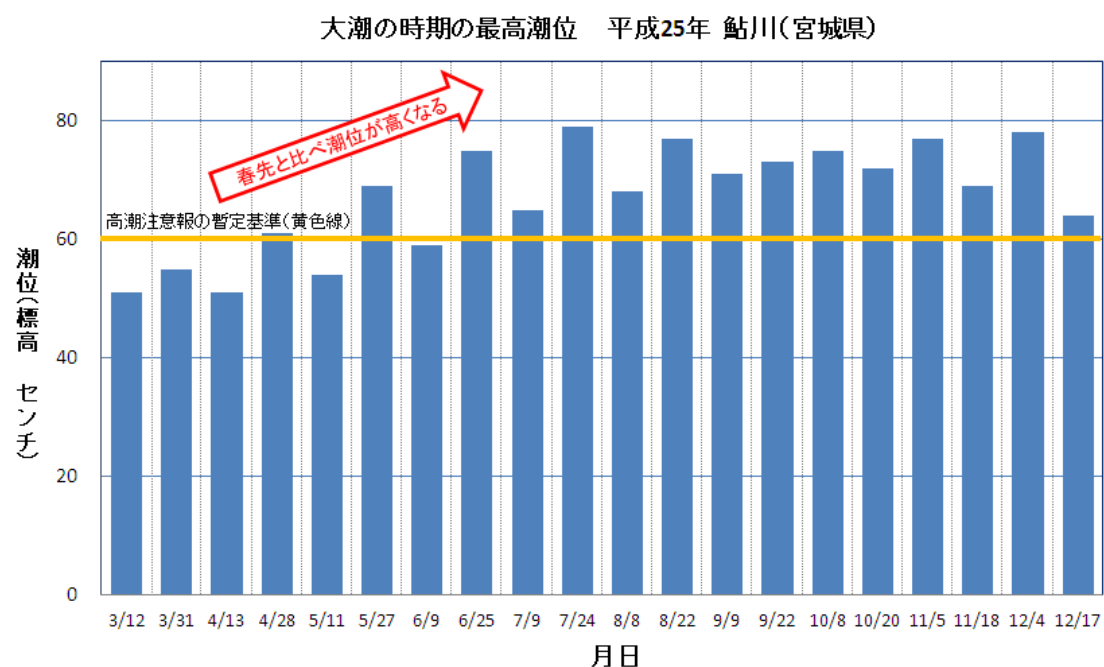


図 1-2 大潮の時期の最高潮位（鮎川（宮城県））

グラフの日付は、大潮の時期の中で平常時の満潮の潮位が最も高くなる日を表します。

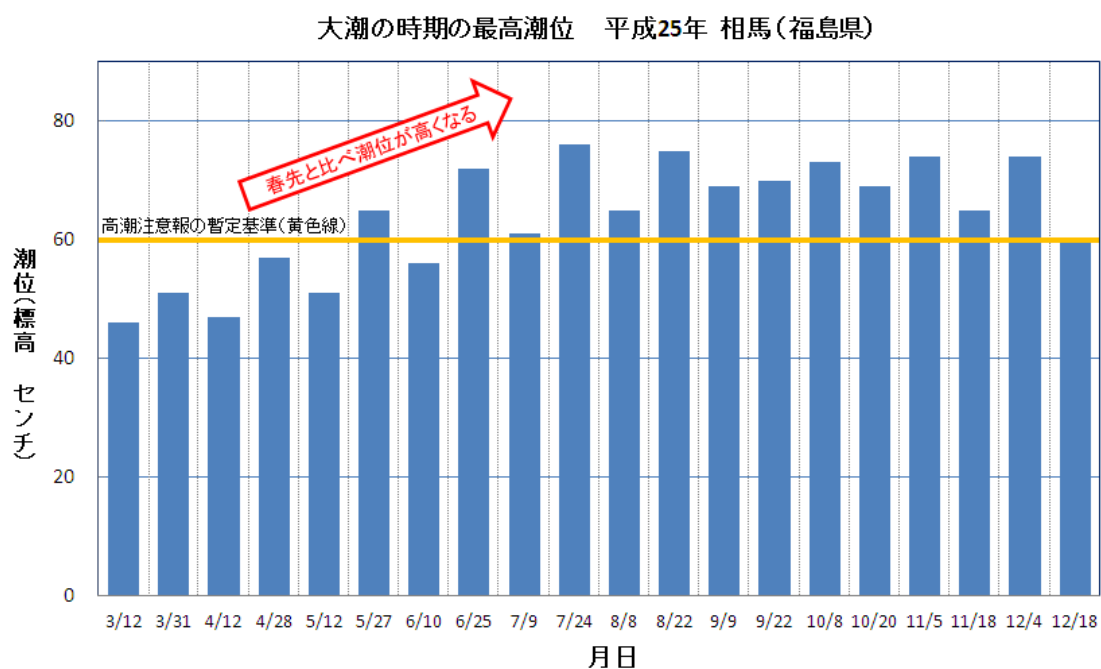


図 1-3 大潮の時期の最高潮位（相馬（福島県））

グラフの日付は、大潮の時期の中で平常時の満潮の潮位が最も高くなる日を表します。

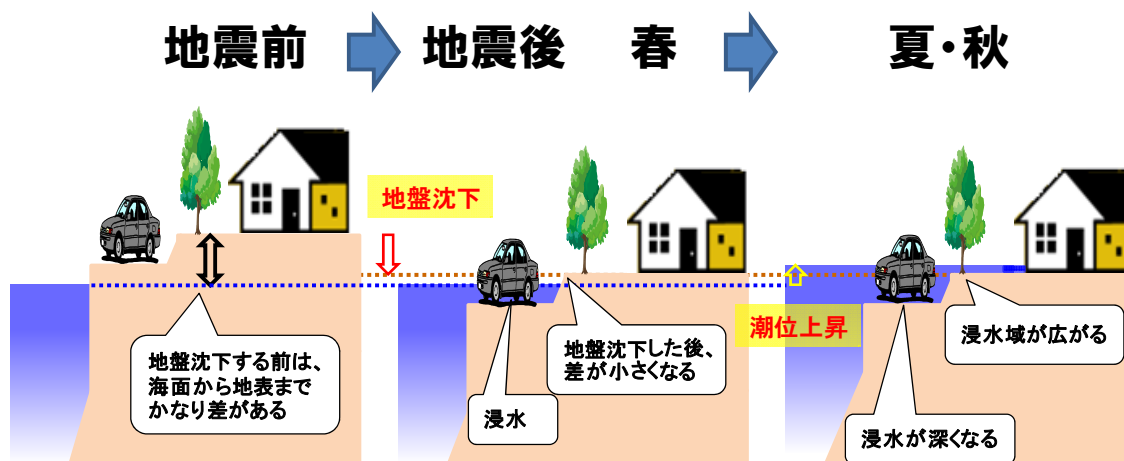


図 2 地盤沈下した地域の夏から秋にかけての潮位のイメージ

夏から秋にかけては、冬や春に比べて潮位が高くなります。このため、地震後の地盤沈下の影響で浸水が起きている地域では、浸水の深さがさらに増大するほか、冬や春に浸水していない地域でも大潮の満潮時を中心に浸水するおそれがあります。

表 1 平成 25 年 6 月後半以降の満月と新月の日

月	日	
6 月		23 日（満月）
7 月	8 日（新月）	23 日（満月）
8 月	7 日（新月）	21 日（満月）
9 月	5 日（新月）	19 日（満月）
10 月	5 日（新月）	19 日（満月）
11 月	3 日（新月）	18 日（満月）
12 月	3 日（新月）	17 日（満月）

これらの日の前後数日間が大潮の時期にあたります。

なお、満潮の潮位が最も高い日は、東北地方から関東地方北部の太平洋沿岸においては、多くの場合、満月や新月の日よりも 1 日～4 日遅れて現れます。また、同じ大潮でも満潮の潮位が最も高くなる日は地点によって異なる場合があります。